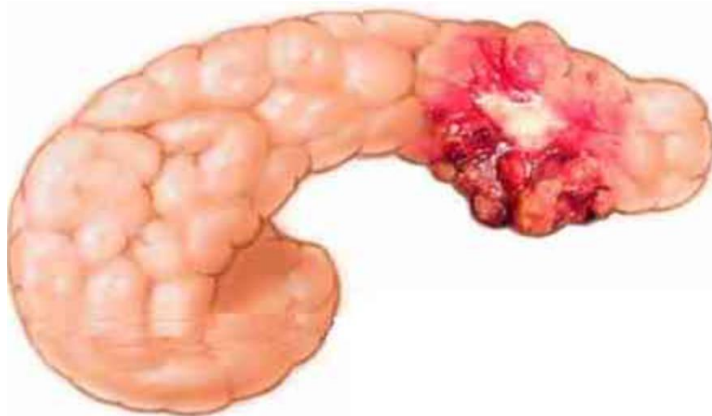


進行膵癌に対する化学療法後の外科治療について

米国ジョンズ・ホプキンス大学で局所進行膵癌患者 415 例を対象に、術前補助化学療法を施行した結果、84 例（20%）に外科切除が可能となり、原発腫瘍切除術が施行されたことが *Annals of Surgery* 誌に報告されました。



切除患者は非切除患者と比べて全身状態が良好で、腫瘍径中央値が小さく ($P=0.029$)、CA19-9 中央値が低く ($P<0.001$)、生存期間の中央値が有意に長い結果でありました (35.3 カ月 vs. 16.3 カ月、 $P<0.001$)。

